

## 29 水質調査

### 29.1 調査目的及び調査方法

#### 29.1.1 調査目的

平成 25 年度において、環境影響評価現況調査時の NO. 4 地点における夏季の浮遊物質量が高くなったことから、その測定結果を補完するために、夏季に NO. 4 地点において浮遊物質量及び河川流量を測定した。

平成 26 年度、平成 27 年度においては、環境影響評価現況調査時の NO. 1～3 及び NO. 5 地点における工事中の水の濁りを調査した。

なお、NO. 4 地点は最終処分場の施工区域内にあたるため、調査地点が改変されることから調査は平成 25 年夏季のみ実施した。

#### 29.1.2 調査項目

- ① 一般項目
- ② 浮遊物質量

#### 29.1.3 調査実施日

各調査項目の調査月日を表 29.1.1 に示す。

表 29.1.1 調査実施日

調査項目	調査実施日
浮遊粒子状物質 一般項目	平成 25 年 7 月、26 年 12 月 28 年 3 月 28 年 7 月

#### 29.1.4 調査方法

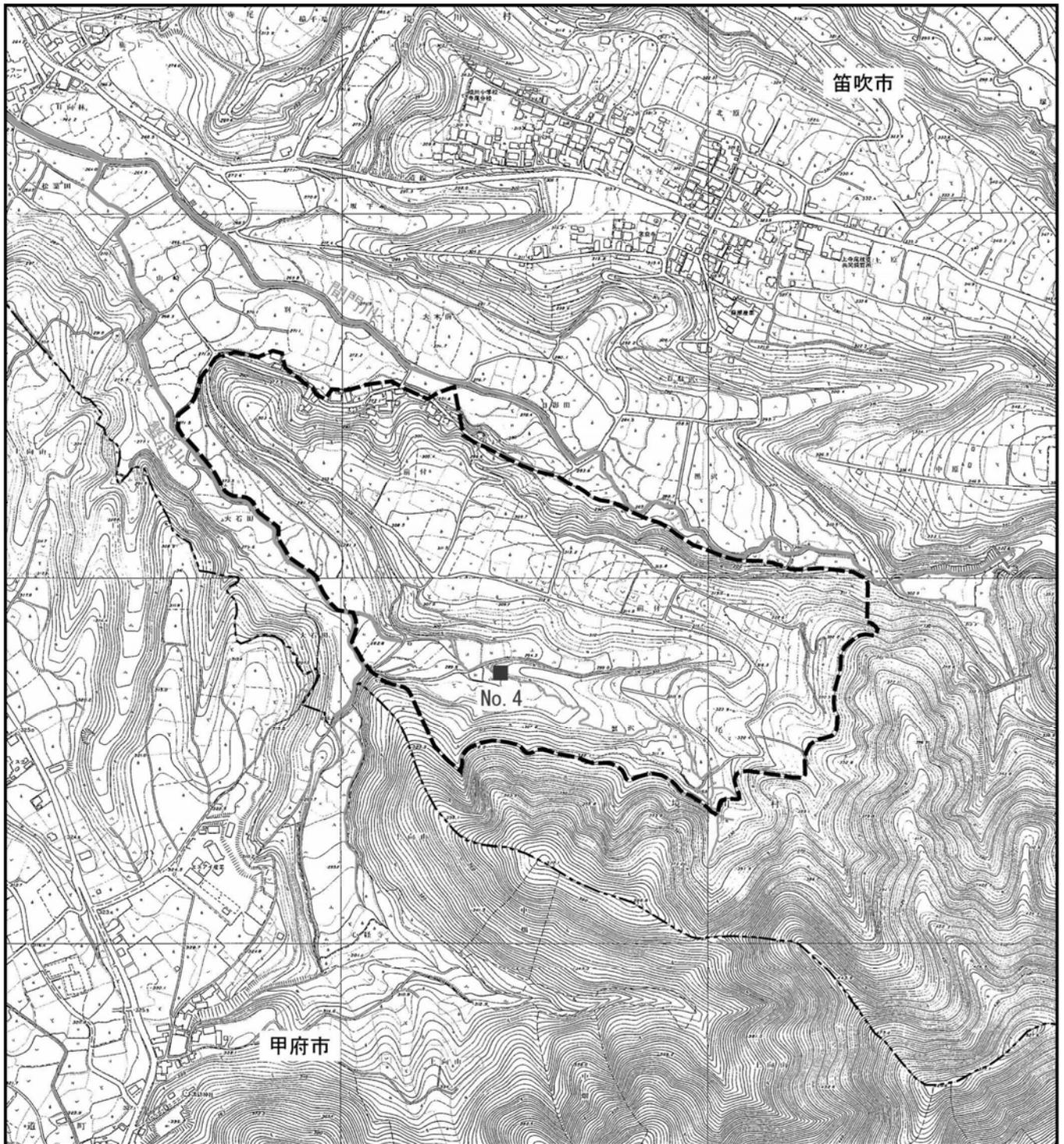
調査方法は、表 29.1.2 に示す方法とした。

表 29.1.2 調査方法

調査項目	調査方法
浮遊粒子状物質 一般項目	「水質調査法」(昭和 46 年環水管第 30 号)、「水質汚濁に係る環境基準について」(昭和 46 年環境庁告示第 59 号)に準拠し、調査地点において採水した試料を持ち帰り、分析する。

#### 29.1.5 調査地点

調査地点は、図 29.1.1 に示す環境影響評価における現地調査地点とした。



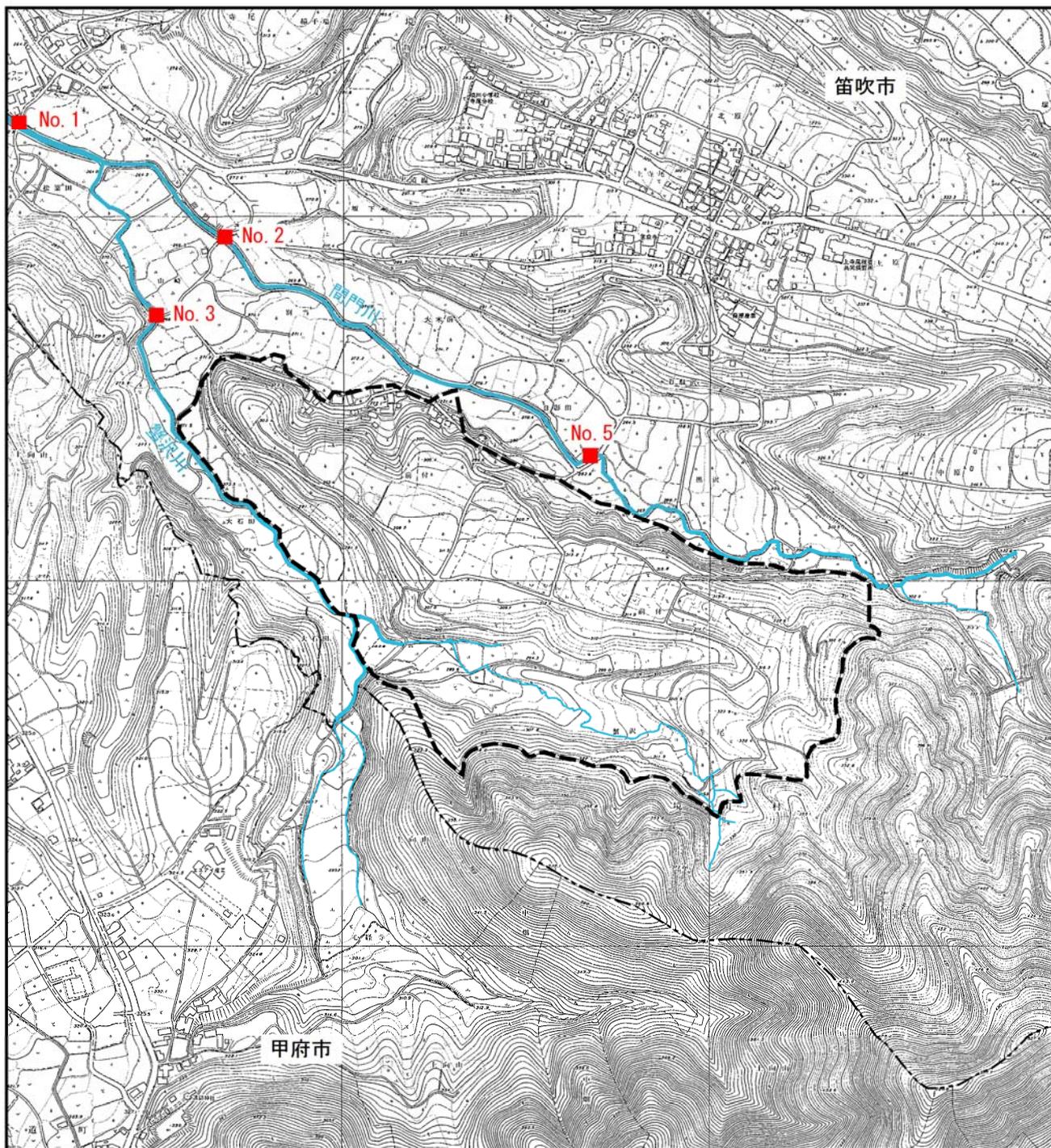
注1) 平成16年10月12日,平成18年8月1日に旧石和町、旧御坂町、旧一宮町、旧八代町、旧境川村、旧春日居町、旧芦川村が合併し笛吹市となっている。  
 注2) 平成18年3月1日に旧甲府市、旧中道町、旧上九一色村の一部が合併し甲府市となっている。

凡 例	
	対象事業実施区域
	行政界
	平常時水質調査地点 (No. 4)



S=1:8,000  
 0 50 100 150 200m

図 29.1.1(1) 水質調査地点 (平成 25 年)



凡 例	
	対象事業実施区域
	行政界
	平常時水質、降雨時及び水底の底質調査地点 (No. 1~No. 5)

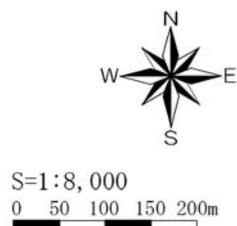


図 29.1.1(2) 水質調査地点 (平成 26 年、27 年)

## 29.2 調査結果

平成 25 年の NO. 4 地点の調査結果を表 29. 2. 1 に示す。調査結果は、環境影響評価時の夏季の浮遊物質量とほぼ同様であった。この地点において夏季の浮遊物質量が大きいのは、調査地点直上流にある水田の耕作の影響と考えられる。

平成 26 年度から平成 28 年度の工事中の濁水 (SS) は表 29. 2. 2～表 29. 2. 4 に示すとおりであった。

平成 26 年調査時は、蟹沢川上流の工事となる最終処分場工事が本格着工していなかったことから、浮遊物質量が少なかったものと考えられる。

平成 27 年調査時は、間門川の No. 2 地点で、80mg/L と工事着手前 (平成 20 年、21 年) 及び工事前の影響の予測値を超過していた。ただし、No. 2 地点の間門川下流側の No. 1 では 92mg/L と工事着手前 (平成 21 年) の 110mg/L を下回っていたため、工事による濁水の影響は限定的であったと考えられる。また、付替工事が実施されていた蟹沢川の下流部調査地点である No. 3 については 38mg/L と予測値 (107. 2mg/L) を下回っていたことから、蟹沢川に対する環境影響は生じていないものと判断した。

平成 28 年度は全ての調査地点で工事着手前 (平成 20 年、21 年) の測定値及び環境影響評価における予測濃度を下回っていた。

これは環境保全措置として資料 8 及び資料 9 に示す防災調整池及び仮設沈砂池による濁水の沈降対策の効果があつたと考えられる。

また、水質汚濁についての苦情等はなかった。

これらのことから、建設工事に伴う水質の影響は生じていないと判断できる。

表 29. 2. 1 工事前調査結果調査結果 (平成 25 年度)

		No. 4
気温 (°C)		30. 5
水温 (°C)		24. 0
浮遊物質量 (mg/L)		54
流量 (m <sup>3</sup> /s)		0. 0035
浮遊物質量 (工事着手前 平常時)	春季	14
	夏季	57
	秋季	10
	冬季	11

表 29.2.2 工事中調査結果（平成 26 年度）

調査項目	No. 1	No. 2	No. 3	No. 5
気温 (°C)	11.0	8.8	9.5	9.5
水温 (°C)	9.3	9.0	8.0	9.5
浮遊物質 (mg/L)	1 未満	1	4	2
流量 (m <sup>3</sup> /s)	0.045	0.021	0.018	0.012
浮遊物質 (工事着手前 降雨時)	1 回目	14	12	15
	2 回目	110	46	120
予測値	—	45.6	107.2	—

備考) 浮遊物質 (工事着手前) は、環境影響評価における現地調査結果

工事着手前の採水日 : 1 回目 H20.11.28 ・降雨量: 20.0mm (甲府气象台)、42.0mm (古関観測所)  
 2 回目 H21.6.24 ・降雨量: 11.0mm (甲府气象台)、25.5mm (古関観測所)  
 工事中の採水日 : H26.12.11 ・降雨量: 1.0mm (甲府气象台)、2.0mm (古関観測所)

表 29.2.3 工事中調査結果（平成 27 年度）

調査項目	No. 1	No. 2	No. 3	No. 5
気温 (°C)	16.3	12.5	13.0	13.0
水温 (°C)	12.3	11.0	10.5	11.2
浮遊物質 (mg/L)	92	80	38	10
流量 (m <sup>3</sup> /s)	0.026	0.026	0.005	0.011
浮遊物質 (工事着手前 降雨時)	1 回目	14	12	13
	2 回目	110	46	120
予測値	—	45.6	107.2	—

備考) 浮遊物質 (工事着手前) は、環境影響評価における現地調査結果

工事着手前の採水日 : 1 回目 H20.11.28 ・降雨量: 20.0mm (甲府气象台)、42.0mm (古関観測所)  
 2 回目 H21.6.24 ・降雨量: 11.0mm (甲府气象台)、25.5mm (古関観測所)  
 工事中の採水日 : H28.3.7 ・降雨量: 2.5mm (甲府气象台)、1.0mm (古関観測所)

表 29.2.4 工事中調査結果（平成 28 年度）

調査項目	No. 1	No. 2	No. 3	No. 5
気温 (°C)	22.6	21.5	22.6	21.6
水温 (°C)	23.7	23.6	22.3	22.6
浮遊物質 (mg/L)	30	44	44	23
流量 (m <sup>3</sup> /s)	0.082	0.058	0.013	0.0096
浮遊物質 (工事着手前 降雨時)	1 回目	14	12	13
	2 回目	110	46	120
予測値	—	45.6	107.2	—

備考) 浮遊物質 (工事着手前) は、環境影響評価における現地調査結果

工事着手前の採水日 : 1 回目 H20.11.28 ・降雨量: 20.0mm (甲府气象台)、42.0mm (古関観測所)  
 2 回目 H21.6.24 ・降雨量: 11.0mm (甲府气象台)、25.5mm (古関観測所)  
 工事中の採水日 : H28.7.26 ・降雨量: 18.0mm (甲府气象台)、10.0mm (古関観測所)